

第2回富良野市総合戦略有識者会議 議事録

■開催日時 平成27年10月9日（金） 午後2時00分～午後4時05分

■開催場所 富良野市役所 大会議室

■出席者 <委員> 能登会長、荒木委員、菊地委員、松村委員、三瀬委員
千谷委員、南條委員、太田委員、原田委員、小川委員
飯沼委員、西本委員、藤田委員

（計13名）

※欠席 松井委員、清水目委員、鎌田委員、田村委員（計4名）

<事務局>若杉総務部長、鎌田保健福祉部長、原経済部長
山内商工観光室長、外崎建設水道部長
西野企画振興課長、入交企画振興係長

1. 開会（午後2時00分）

2. 市長あいさつ

- ・総合戦略については、どの市町村も目的を達成する状況づくりには苦慮しているが、本市においても来年3月策定に向け取組を進めている。
- ・有識者会議委員の皆さんの意見等から、人口減少対策を中心とする地方創生に向けた今後5年間の戦略を策定していきたい。
- ・第2回有識者会議では、各委員からの提出意見をもとに議論を行う。
- ・現在、地域懇談会を開催中であり、そこで出された市民からの意見も反映していきたい。

※以降は、設置条例第5条に基づき、能登会長が進行。

3. 議題

(1)人口減少対策と地方創生に向けた施策の検討について

①第1回有識者会議において各委員からの意見に関し、市で検討している施策について事務局より資料2に基づき説明。

②各委員からの提出意見について

各委員より資料3及び別冊に基づき説明。（西本委員より当日資料提出あり。）

<提案要旨>

【藤田委員】

- ①富良野版DMOの創設
- ②仮称「まちなかコンドミウム」構想
- ③食品加工業の振興

【南條委員】

- ①人口減少に対する対策について

【三瀬委員】

- ①富良野市内事業所合同大規模社員寮の建設

【菊地委員】

- ①掘り下げた実情や要望事項、阻害要因等の把握による具体策や総合戦略の検討

【原田委員】

- ①市内空家バンク結成と空家を活用した移住者対策

【松村委員】

- ①高齢者用住宅の供給誘導プロジェクト
- ②市内従業者の顔の見える定住促進プロジェクト
- ③良質な民間賃貸住宅ストックの形成プロジェクト
- ④中古住宅市場形成と安心住み替えプロジェクト
- ⑤公共施設における省・創エネ導入プロジェクト
- ⑥資源循環・乳製品（農産品）加工センター事業化プロジェクト
- ⑦小水力を核とした地域電力供給プロジェクト

【千谷委員】

- ①マイホーム借上げ制度について

【西本委員】

- ①基幹産業の活性化
- ②中心市街地の活性化
- ③公民協働のまちづくり
- ④避けられぬ「選択と集中」

(2) 質疑応答・意見交換

【委員】

- ・住み続けたい、子どもを産み育てたいと思わせるインフラ整備は必要ではないか。
- ・子育て支援を自分たちの町内会で地域会館を使って実験的に取り組むことを考えている。元気な高齢者が無償ボランティアにより、子育てに悩んでいる母親や働きたい母親等の手助けになるようなシステムをつくれぬか考えている。成功事例をつくっていききたい。
- ・住みやすい町でなければ、衰退していく一方である。

【委員】

- ・就業の機会をつくるのが大事ではないか。ニセコ町を解析したときに、定職を持たずに来る人が多く、パートをつなぎながら暮らしていることが分かった。移住・転入の視点で考えたとき、富良野ではどのようなパートがあり、それをつなぐことで年収がどれくらいになるかのモデルをつくり情報として発信をしてはどうか。
- ・空き店舗の活用を考えたとき、若い女性に何が必要か聞いてみる。また、市の住民窓口において、なぜ入って来たのか、なぜ出て行ったのかをアンケートをとり、データを蓄積することで、何が必要か見えて来る。

【委員】

- ・出会いの場の創出において、マッチング支援だけでなく、その後のフォローが大事である。

【会長】

- ・結婚に関する専門的な窓口を市に設置し、イベントの開催や助成、マッチングやフォローの支援など総合的に取り組んでいく体制が必要と考えている。
- ・人口減少対策として、年次別に、何にどう取り組み、どういう状況をつくっていくか考えていかなくてはならない。

【委員】

- ・昔、市役所に結婚相談所があり、成果をあげていた。時代の流れとともになくなったが、是非、行政で力を入れて取り組んでほしい。

【委員】

- ・今の若者は、仕事が忙しかったり、好きだったりする。若者が活動しやすいよう職場の上司等が後押しをしてくれると良いのではないか。
- ・天候等を気にしなくても子どもたちが遊べる室内施設がもっとあると良いのではないか。

【委員】

- ・人口減少をどうするかを解決できれば、地方創生になる。
- ・人口を増加させるためにどうするかを考えたとき、出生数を増やす、転出を減らす、転入を増やす、ことにつき、それぞれの障害、課題を解決すれば良い。
- ・出生数を増やすためには、結婚しなければいけない。結婚するためには、収入がなければいけない。収入を得るためには、仕事をしなければいけない。
- ・転出を減らすためには、仕事がなければいけない。
- ・転入を増やすためには、仕事がなければいけない。
- ・すべてが仕事につながっており、事業所が求職者に選ばれる状況づくりや業種ごとの分析などが必要になってくる。
- ・観光業において、ポスト“北の国から”を考えていかななくてはいけない。
- ・富良野で調達できていないものを、富良野で調達できるとして、商売として成り立つか分析する必要がある。
- ・中心市街地活性化を考えたとき、雪はねをしたくない高齢者を街中へ誘導したとき、それまでの住居をどうするか対策を併せて考えなくてはいけない。
- ・施策は大小、細かくあり、それらの中から選択と集中により、取り組んでいかななくてはいけない。

【会長】

- ・最終的には、人口減少が大きな課題である。
- ・来年3月の総合戦略策定を考えると、1月位には有識者会議の決定が必要となる。
- ・具体的施策を実施するとき財源確保が課題となるが、総合戦略期間だけでなく継続的な施策でなければいけない。
- ・施策の選択と集中により、どれだけ人口減少のスピードをどれだけ弱められるかである。
- ・今後の有識者会議においても、委員皆さんの協力をいただきながら進めていきたい。

4. 今後の予定

- ・事務局より、第3回富良野市総合戦略有識者会議を11月9日（月）午後2時から富良野市役所大会議室で開催する旨を連絡。
- ・また、各委員からいただいた意見は、市でも検討していきたい。

5. 閉会（午後4時05分）